

あらかわ

荒川市民センターだより

発行 青森市荒川市民センター
〒030-0111 青森市荒川字柴田 129-1
TEL 017-739-2343
FAX 017-739-2343



講座レポート

草木染教室 ～藍～ (8/24)

8月24日に「草木染教室～藍～」の講座を開催しました。講師は、青森県産羊毛の会の代表で染・織物講師の中川麻子さんです。中川講師から、「藍染」と言っても、藍玉に木灰を混ぜ、2週間発酵させて染液をつくる「徳島藍染」に代表される一般的な「藍染」ではなく、8月の今がまさに旬である藍の生葉を水だけで揉み出した染液に浸け、空気に触れられるだけで染め上がる、カラッと爽やかなブルー、自然な風合いを楽しんでもらうための「藍染」である、という説明がありました。今回、仕上げる作品は、絹100%のストールです。参加者は世界に一つしかないストールを完成させようと意欲的に活動していました。染め物の醍醐味は、色合いとその模様づくり。割りばしや輪ゴムを使って絹のストールをつまんだり、挟んだりして生地を絞ります。絞った箇所は染液が染み込まずに発色が弱くなります。この「絞り」の強弱の付け方、どこに、どのように入れるかが、作品に個性を与えます。「絞り」が終わったら、水に浸しておきます。

藍の茎から葉だけをそぎ落とし、台所用水切りネットに40gほど入れて葉が出ないようにきつく縛ります。あらかじめ水を入れたボールに、そのネットを沈め、空気に触れないように根気よく両手で揉み出し、黒に近い深緑色でぬめりが出てきたら染液の完成です。水に浸け置いたストールを軽く絞り、染液に浸け込むこと30分。水洗いしているうちに酸化して発色します。染め上がった「きれいな淡いブルー」に歓声が上がりました。このドキドキ感がこの講座の大きな魅力かもしれません。

水と空気だけで染め上がる「藍」という存在、恐るべし！



きれいなマーブル。大理石のよう！

市民センターから



Instagram

&

facebook

を始めました。

数年前に、facebookのアカウントを取得していたのですが・・・なかなか更新できずにストップ状態でした・・・今年度から、新たな気持ちでinstagram&facebookを始めました!!!若いスタッフの力で、とてもいい感じで投稿ができています。

おかげさまで、フォロワー数も着々と増えていて、好発進です。様々な世代の方々に、市民センターのことをもっと知ってもらいたいとの思いから、始めたSNS発信!!!受講者の方や講師の先生方のご協力のもと、素敵な写真や動画を発信できています。

たくさんの方に届きますように!!!これからも誠心誠意、励んで参ります。

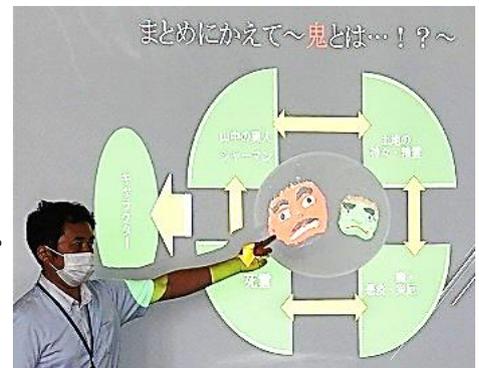


荒川市民センターでは年3回の「郷土史講座」を企画していますが、2回目となる『青森の鬼伝説』が、青森県立郷土館学芸課副課長・学芸主幹の小山隆秀さんおやまを講師に開催されました。小山講師は、配付した文章資料とスクリーンの映像資料を効果的に使って、実地調査や現場取材の体験談を織り交ぜながら、楽しく解説してくれました。テーマはもちろん「鬼とは何か」です。

最初に、ねぶたの鬼（佐藤伝蔵作）の写真や「百鬼夜行」の行進しゅてんどうじと源頼光みなもとのよりみつ四天王（渡辺綱や坂田金時など）との闘いの大和絵から、角があり、力強く、こわいという「鬼」のイメージを想起させ、次に「くらしのなかの鬼」と題して、様々な文献や新聞資料、民話、神社の御神体や奉納物から、「鬼」という存在を考察しました。例えば鬼とは、「追いはぎや盗賊の類」「季節の変わり目に忍び寄る災いや病気」「凶作をもたらす台風ややませ」「洪水や濁流」「朝廷に逆らう敵対勢力」「地獄の番人」「火車を引く者」「死体に寄って来ては死体をさらっていく魔物」「山にいる異人、生命力あふれるシャーマンや修験者」「製鉄との関わりから豊穡をもたらす神様」「津軽のマンジとシャクジョウのような土地神」など…。

鬼には様々な顔があり、一括りでは表現できない存在であるとのこと。最後に小山講師は、鬼とは、①山中の異人・シャーマン②土地の神々・精霊③魔物・悪疫・災厄④死霊、以上の4つの側面がそれぞれ関わりあって、その時代や事象ごとにキャラクターが変化する存在ではないか、とまとめました。

受講者は「鬼」という視点を通して郷土の歴史に興味をもち、特に岩木山の神秘や霊力、神社や御神体、製鉄の歴史、かつての冠婚葬祭や各地の風習など、民俗学の楽しさにも触れることができ、盛大な拍手のうちに講座は終了しました。



「鬼とは何か」まとめをする小山講師



お勧め講座・イベントのご案内！ (10～12月)

アタマとカラダを使って遊ぼう！ ～キッズシナプソロジー® 教室～

開催日：10月21日（土）、11月18日（土）
12月16日（土）14：00～15：30

対象：5歳～小学3年生

講師：シナプソロジーインストラクター
齊藤 由美子

定員：30人（無料）

準備物：動きやすい服装、汗拭きタオル
水分補給用飲料、
うち履き

※楽しいミッションをクリア
して頭も体も鍛えよう！



青森の民俗学～年中行事～

開催日：11月21日（火）

対象：18歳以上

講師：青森県立郷土館 主任学芸主査
増田 公寧

定員：30人（無料）

準備物：筆記用具

※青森に古くから伝わる
年中行事！そのルーツは？郷土館の先生が楽しくお話をしてくれます。



編集後記

市民センターでは、にぎやかで楽しそうな声が聞かれるようになりました。市民センターまつりも各市民センターで開催される予定で、コロナ禍以前のように、講座やサークル活動が活発になってきた兆しが見られます。市民の皆様の学習活動が安全・安心に行われるよう今後も努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164（内線36）

荒川市民センター担当：田中、奈良原